平成 23 年 7 月 14 日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社 マ ル マ エ
代表者名　代表取締役社長　前田　俊一
（ コード番号：6264　東証マザーズ ）
問合せ先　取締役ＩＲ担当　藤山　敏久
（ TEL. 0996-64-2900 ）

平成 23 年６月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 23 年６月度月次受注残高情報を開示いたします。

記

１．月次受注残高

(1)精密切削加工事業　（千円未満切捨て）

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
ＦＰＤ分野	156,718	80.7%	8.3%	56.2%
半導体分野	35,627	18.4%	0.2%	11.3%
太陽電池分野	0	―	―	―
その他	1,789	0.9%	103.9%	△60.4%
合計	194,134	100.0%	7.1%	40.7%

(2)装置組立事業　（千円未満切捨て）

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
ＦＰＤ分野	0	―	―	―
太陽電池分野	0	―	―	―
その他	0	―	―	―
合計	0	―	―	―

(3)合計　（千円未満切捨て）

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
精密切削加工事業	194,134	100.0%	7.1%	40.7%
装置組立事業	0	―	―	―
合計	194,134	100.0%	7.1%	△30.6%

２．月次受注残高の推移

(1)精密切削加工事業　　（千円未満切捨て）

区分	H22.7月	8月	9月	10月	11月	12月
ＦＰＤ分野	98,771	97,572	105,828	116,132	※123,140	132,598
半導体分野	37,624	30,983	23,234	36,046	※36,104	44,517
太陽電池分野	6,388	6,314	9,410	11,614	6,638	734
その他	2,951	690	1,923	1,115	879	2,819
合計	145,736	135,561	140,396	164,909	166,763	180,669

区分	H23.1月	2月	3月	4月	5月	6月
ＦＰＤ分野	105,781	55,593	※91,063	※135,311	※144,767	156,718
半導体分野	52,606	99,831	51,193	30,666	※35,566	35,627
太陽電池分野	7,803	11,812	5,557	62	0	0
その他	2,401	2,877	1,090	2,608	877	1,789
合計	168,592	170,114	※148,905	※168,649	※181,210	194,134

(2)装置組立事業　　（千円未満切捨て）

区分	H22.7月	8月	9月	10月	11月	12月
ＦＰＤ分野	59,637	59,637	1,309	1,309	1,309	1,309
太陽電池分野	81,766	81,766	81,266	81,266	81,266	0
その他	0	560	0	1,632	1,044	1,239
合計	141,404	141,964	82,576	84,208	83,620	2,549

区分	H23.1月	2月	3月	4月	5月	6月
ＦＰＤ分野	1,309	1,309	250	0	0	0
太陽電池分野	0	0	0	0	0	0
その他	762	0	0	0	0	0
合計	2,072	1,309	250	0	0	0

(3)合計　　（千円未満切捨て）

区分	H22.7月	8月	9月	10月	11月	12月
精密切削加工事業	145,736	135,561	140,396	164,909	166,763	180,669
装置組立事業	141,404	141,964	82,576	84,208	83,620	2,549
合計	287,140	277,525	222,973	249,118	250,383	183,219

区分	H23.1月	2月	3月	4月	5月	6月
精密切削加工事業	168,592	170,114	※148,905	※168,649	※181,210	194,134
装置組立事業	2,072	1,309	250	0	0	0
合計	170,664	171,424	※149,155	※168,649	※181,210	194,134

※四半期決算処理に伴う修正

３．月次受注残高の概況

平成 23 年６月末の受注残高の状況は、精密切削加工事業のＦＰＤ分野において受注が増加傾向で推移し、出荷検収も順調に推移したため受注残高は増加しました。また、半導体分野においても受注が順調に拡大したため、全体としては対前月増減率 7.1％増の 194,134 千円となりました。

現在の受注状況といたしましては、精密切削加工事業のＦＰＤ分野において、前月は一時的に停滞しましたが、依然としてタブレット型ＰＣやスマートフォンに向けたタッチパネルや有機ＥＬディスプレイ関連の製造装置部品の活況が継続し、受注残高は対前月増減率で 8.3％増、対前年同月増減率では 56.2％増の 156,718 千円となりました。また、半導体分野においては、受注及び生産・検収ともに堅調に推移し、対前月増減率 0.2％増、対前年同月増減率 11.3％増の 35,627 千円と堅調に推移しました。一方、太陽電池分野の受注においては、動きはありませんでした。

今後の受注見通しといたしまして、ＦＰＤ分野においては、第７世代から第８世代の大型液晶製造装置部品の受注は今期低迷する見通しですが、タッチパネルや有機ＥＬディスプレイ関連の中小型製造装置については引き合いが旺盛であり、大型装置の停滞を補って中小型製造装置からの受注は活発に推移する見通しです。半導体分野においては、既存顧客の増加と合わせて、新規主要顧客からの試作品や単品の受注が継続的にあり、量産品受注に転ずる見通しを持っており、中長期的な拡大傾向にあります。太陽電池分野においては、結晶系や化合物系の太陽電池製造装置向けの受注が緩やかに増加していく見通しを持っておりますが、薄膜系太陽電池におきましても新たな技術革新の可能性があり、技術協力を含めた受注活動を推進しております。

全般的には、東日本大震災の直接的な影響は少なく、ＦＰＤ分野におきましても、半導体分野におきましても、最終商品としてタブレット型ＰＣやスマートフォンの需要が旺盛であることから、同商品に向けた受注が拡大していく見通しを持っています。

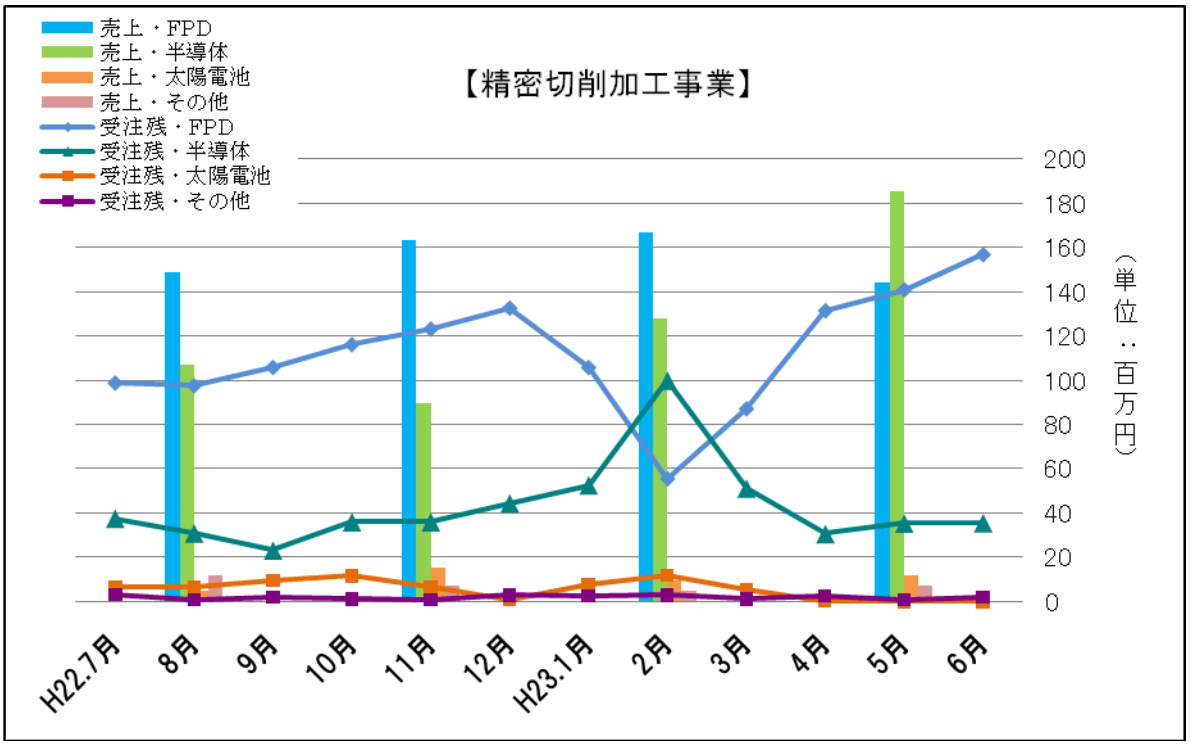
なお、装置組立事業につきましては、当社の事業方針として精密切削加工事業を中心にした本業回帰を掲げていることから、自社組立を停止するなど、受注は縮小傾向にあります。

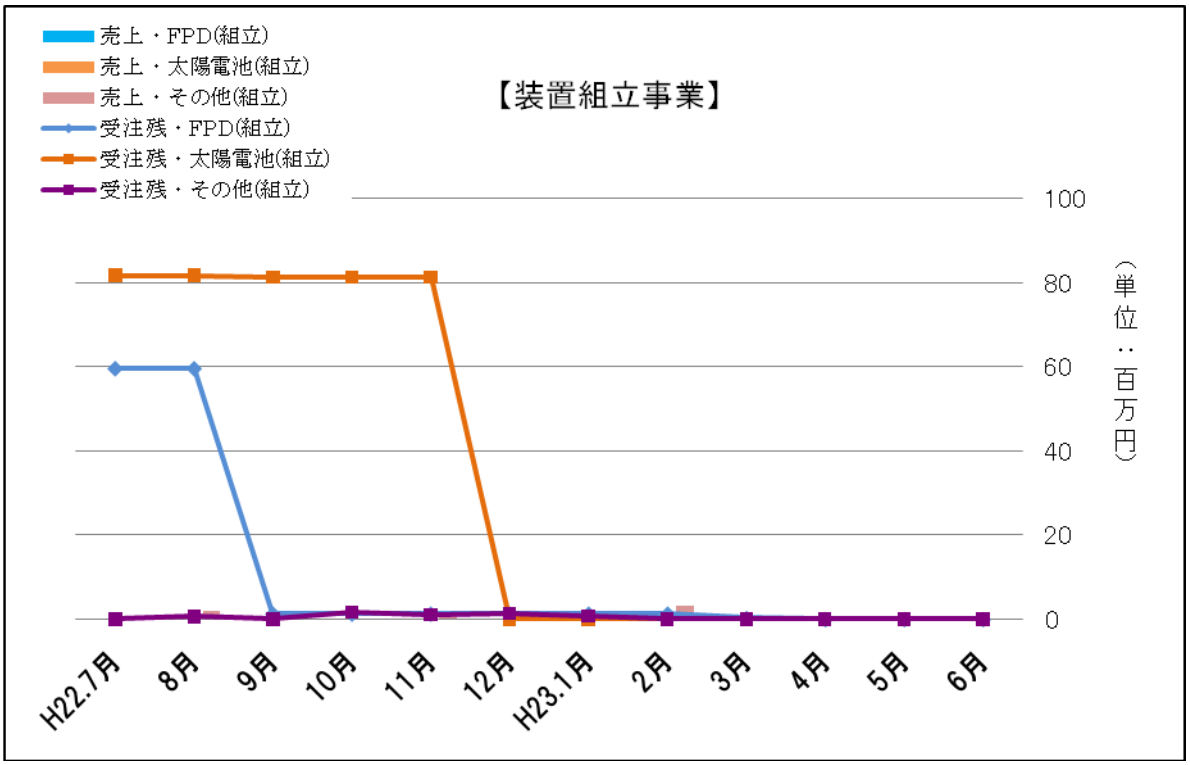
引き続き当社は、市場低迷の影響を受けないような施策に取り組んでまいります。

以　上

(注)上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

(参考：分野別　過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)





(注)当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短いか当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。